

ミコソ

1998 . 5 . 5 No.70

バングラデシュと 手をつなぐ会

「バングラデシュと手をつなぐ会」は、バングラデシュのカラムディ村で、現地の村人による委員会(シヨンダニ・シヨンスタ)と協力して次の活動を行なっています。

教育では 小学校建設、奨学金制度、職業訓練(タイプ、ミシン)、夜間学級、識字学級など

医療では 母子保健センターの建設と運営、定期的な現地での診療活動、健康および環境調査、医療従事者の研修と村人の衛生教育など

楽しいつどいと交流を広げて

一九九八年度「手をつなぐ会」の「理念」

四月一九日午後、バングラデシュと手をつなぐ会「の総会がひらかれました。その中で、会の「理念」として、①地球市民としての平等、②人のいのち③村人の自立、そして④に「バングラデシュでも日本でも楽しいつどいと交流をまわりへ広げていく」が決められました。

ものはゆたかでも楽しく生きていこうとは言えない日本の子どもたち、食しいけれど広いゆたかな自然の中も動物と鳥と一緒に楽しくなげまわるバングラデシュの子どもたち。

これからの二年、みなさんと一緒に楽しいつどいと交流をまわりへ広げながら一緒に考えて行きますよ。(大木松子)



バングラデシュと手をつなぐ会総会が開かれました。

昨年までの 10 年間の活動を振りかえり、これからの歩みをともに考えながら一緒に歩いていきましょう。以下、簡単ですが、総会の報告を掲載します。

1997 年度活動報告、1998 年度活動計画、それに新しい運営委員と事務局の紹介です。

1997 年度活動報告

1997 年はこれまでの 10 年間で振りかえりながら、組織としての基盤を固めていく節目の年になりました。新しい試みとしては、

- ☆ 「意見や考えを共有する」ことを目的に、10年委員会を毎月開きました。
- ☆ 会の運営が円滑に運ぶように、事務局を作り、定期的に事務局会議を開きました。

これらの会を通して、じっくり意見交換することができ、会のあり方を考えるいい機会となりました。

また、この数年にわたって、募金活動が少なくなり、収入が大幅に減少、現地への送金が不十分になる恐れが出てきたため、現地スタッフを応援しようと、「母子保健センター支援キャンペーン」を行いました。会員・協力会員・市民の、たくさんの方から反応があり、村を支えている多くの輪があることを改めて感じました。

当会の招聘事業や「夢みるこども基金」の招待などで、カラムディ村からは中学生 2 人、教師 2 人、看護婦 1 人が日本に来られ、子どもたち同士や会員、市民の方と心からの交流ができました。さらに 7 月の現地訪問は 13 名が参加し、現地スタッフと突っ込んだ、多くの話し合いがもて、意義あるものとなりました。

NGO としての活動も幅広く行い、社会的にも責任ある仕事を求められるようになりました。これからも会の質の向上を目指さなければなりません。

会員・市民への活動報告も各地で行ってきましたが、まだまだ働きかけが不十分です。会員同士の交流も不足がちでした。ミロンは年に 6 回発行し、何よりも、もっと会員の皆さんとの交流をはかっていきたいと思っています。

1998年度活動計画

1998年はバングラデシュと手をつなぐ会の会員の皆さんとともに、以下のことを目標とともに歩んでいきたいと思えます。

1) バングラデシュと手をつなぐ会の、NGOとしての質の向上を目指す

- ① 会として、会員として一人一人が見方・考え方・行動の質の向上を。
 - † ミロンに「会員の声」を載せたり、会員同士の交流を図り、「顔の見える関係」を作りたい
 - † 他のNGOとの交流を図る(NGO福岡ネットワークへの参加等)
 - † 「定例会」を開催し、新しい人、参加を希望する人の場を作り、かつ会員同士の交流・学習の場としたい。
- ② 10年間の活動と、昨年の10年委員会を踏まえて、今後の10年の展望を現地の人々と共に切り開こう。

2) 財政基盤の確立を

- ① 公的資金
- ② 募金・寄付の安定化
- ③ 独自事業を模索

3) 組織体制の確立を

- ① 運営委員会・事務局などの確立
- ② 会員登録(会員カードを作る。)

4) カラムディ村との交流を深め、その成果を会員と共有すること

会の基本であるカラムディ村との協力・交流活動を、会員の方々と共有することを今まで以上に大切にしたいと考えています。

今年は特に、現地の熱い思いを伝え、共有する、という視点を大切にして、現地訪問や報告会を進めていきたいと考えています。

5) 10年委員会の継続・発展→「10周年記念事業」

昨年の10年委員会を継続して、今年度は10周年記念誌、または「10周年記念事業」に取り組みます。

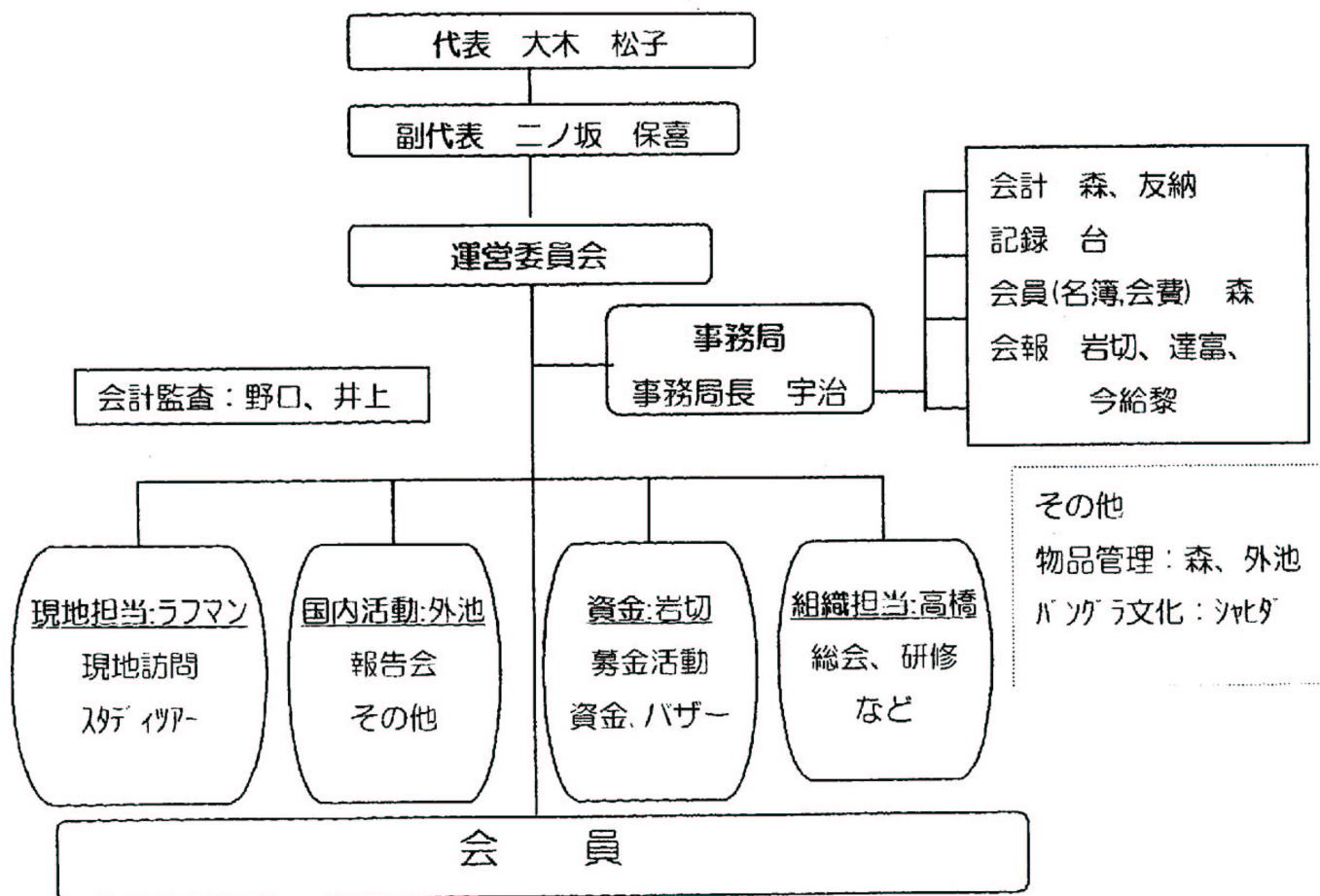
- ◎チャリティコンサート
- ◎シンポジウム
- ◎小中学生対象に「国際協力の作文コンクール」

これらの目標を実現するために、次のような活動計画を立てました。

- 4月 総会／現地訪問団員募集
- 5月 定例会開始
現地訪問研修、ベンガル語講座開始
- 7月～8月初 現地訪問
- 8月～10月 現地訪問報告会（定例会、職場、地域、学校で）
- 11月 チャリティバザー
- 12月 10周年記念誌の作成 and/or 記念事業
- 12月～ 教科書図書館・奨学金基金のための募金活動
- 3月 チャリティバザー

その他 定期的な活動として

- 定例会 毎月第1木曜日夜7時／西新事務所
- 運営委員会 毎月第3木曜日／西新事務所
- 事務局会議 随時(毎月1回第2週原則)



会員の皆さん、協力者の皆さん、今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

会計からお知らせと報告

母子保健センター支援キャンペーン ご協力ありがとうございました。

今年1月からカラムディ村の母子保健センターを充実させるために、皆様に募金をお願いしました。その結果2,129,789円の心温まる募金が集まりました。

(1月から3月末まで)心よりお礼申し上げます。

3月29日、西新にて、チャリティーバザーを行いました。

総額 75,780円

天気にも恵まれ、上記の利益になりました。次回のバザーの為に家庭の中の不用品をご提供下さい。

旅費カンパにご協力下さい。

夏です。訪問団に私たちの気持ちを届けてもらいましょう。そして、現地の様子、村人の声を、日本で待つ私たちに届けてくれるでしょう。

外務省経済協力局民間援助支援室より

NGO事業補助金280万円頂きました。

母子保健センターの施設、設備の充実、薬品代などのため、公募に申請しました。レントゲン機械一式と超音波診断装置購入、母子保健センター周囲の塀の建設などに使います。

新会員・協力会員紹介

竹田 照さん、山口 節子さん、松井 岩美さん、池田 玲二さん、安永 好子さん、萩原 輝久さん、おごおりアジアを学ぶ会さん

募金協力者紹介

団体

草香江幼稚園 へのさかクリニック キョウエイ薬品

個人

吉住正子 堤松雄 下田廣子 石村基代 中村順子 幸田あけみ 中村泰代
古川文隆 高島勝志 松隈則子 小林貴子 石塚月子 釈河野しのぶ 川野須美子 村石敦
栄 川原ヒデキ 古賀厚子 古賀南 庄崎恵子 大木薫 池田玲二 野口幸子 大賀久美子
原田妙子 山路英子 藤本紀代子 倉富久夫 下村美智代 有井和恵 富田ケイ子 前山恒善
上野すぎえ 山路英子 三松高明 萩原輝久 三野原信二 嶋田國重 桂みつ子 佐藤莞治
大野和夫 緑川啓一 大浦エミ子 八木博司 高橋美沙子 松井岩美 中谷道恵 井上康規

カラムディ村便り／希望に燃える母子保健センター

一時失望した村人たちはまた希望を持ち、今年に入って新たなスタートをした。ついに診療所にエコーやレントゲンが導入されたからだ。3年前カラムディ村に診療所ができたとき、村人は高度な治療ができなくても最小限の治療を受けられるだろうと期待した。母子保健センターの建物ができ、医者や看護婦も着任した。しかし、いざふたを開けてみると、昔から村にある裸足の医者による医療と何らかわりがない。患者の病歴を聞いて、熱をはかって、簡単な検査をするだけ。その方法は新しい母子保健センターの診療所でも、裸足の医者でもほとんど同じ。その結果、せっかく診療所ができて、そこを利用するのは分娩のためのお母さんたちだけだった。

しかし昨年末に日本からエコーを持って行き、2月にレントゲン装置を購入した事によって村人もシヨンダニのスタッフも、新たな希望をもって仕事に取り組みはじめた。現在のところ、毎日、一般の外来患者数は三・四十人にのぼり、分娩も月に20人から30人ほど行われる。ようやく母子保健センターとして最低限の機能がそろった感じだ。

レントゲンを撮ったり、検査をしたり、分娩患者の世話をしたり、三人の看護婦は本当にたいへん。特に夜間に出産がある場合には、(翌日も休みではないため)その疲れは蓄積されていく。医師のノルジャマンさんは治療だけではなく、村人の健康改善のために様々な対策を考えたり、学校の子供たちに健康教育を行ったり、村に出かけて行って村人に衛生指導をしたりする。彼も医者一人であらゆることするのでかなりたいへんだ。

しかし皆希望に燃えて、張り切って仕事に取り組んでいる。きっと将来、村人の健康と生活に明るい光をもたらすにちがいない。(ラフマン)

新しい集い<定例会>のお知らせ

昨年度まで、初めて参加される方の受け入れの場として、運営委員会、10年委員会、事務局会議などにお誘いをしてきました。しかし、会の事を知っていただくためには順序が飛びすぎた段階の内容であり、その受け入れ方に問題があったとの反省から、今年度は「定例会」という集いを新たに設ける事になりました。

この「定例会」では、新しく参加される人や会員の交流や学習の場、自由な意見交換の場などとして、全ての人がざっくばらんに参加できるような企画を考えています。集会日は毎月第一水曜日の19時からです。多くの方のご参加をお待ちしております。

第一回目は、5月7日(木)19時より(西新事務所)

内容は「カラムディ村の生活について」担当はラフマンさんです。

“人のために何かできたら…”という純粋な気持ちで夢を見ていた頃から早〇年。二ノ坂先生とであってこの会を知り、参加させてもらうようになりました。—昨年スタディツアー、そして昨年は念願の現地訪問に参加することができました。

さて、私がこの会に参加することで考えはどのように変化したでしょうか？(25点)

- ① やっぱりこの会は私のためにあると言っても過言ではない。今後ともばりばりやりまくる。(仕事を)
- ② 少しずつながら、いろんなことが見えてきた。時々休みながらも少しずつやっつけていこう。
- ③ 理想と現実のカベにぶつかり、やる気が失せた。さようなら。

上記答えおよびあなたの考えお待ちしております。

以上、達富三佳でした。



現地訪問に参加される方、募集します

恒例の現地訪問の季節が近づいてきます。現在、参加される方を募集しています。

日程

7月18日～8月2日

費用

約15万円

現地では…

医療班は、母子保健センターで働く医療スタッフと共に、診療や巡回検診、健康・環境調査など。教育班は、小中学校を訪問し生徒との交流、懇談、先生との話し合い、父兄との懇談など。その他、現地スタッフとの話し合い、村人との交流を行ないます。



お問い合わせ

事務所	844-1369
ラフマン	632-3382
二ノ坂	872-1136

お知らせとお願いコーナー

5月～7月の行事予定

(未定・変更される場合があります。ご確認ください。)

月 日	時刻・時間	内 容	場 所
5月7日(木)	19時～	定例会	西新事務所
7. 8日(木・金)	19時～	ミロン発送作業	西新事務所
11日(月)	19時～	現地訪問事前研修 (以後2週間毎に開きます。)	いのさかりニッ
15日(金)	19時～	事務局会議	いのさかりニッ
18日(月)	19時～	10年委員会	西新事務所
21日(木)	19時～	運営委員会	西新事務所
27日(水)	19時～	ベンガル語講座	西新事務所
6月4日(木)	19時～	定例会	西新事務所
6日(土)	14時～17時	NGO福岡ネットワーク 定例会	アクロス福岡3F こくさいひろば
11日(木)	19時～	事務局会議	いのさかりニッ
18日(木)	19時～	運営委員会	西新事務所
7月2. 3日	14時～	ミロン発送作業	西新事務所
9日(木)	19時～	定例会:現地訪問団を囲んで	未定
7月18日(土)～8月2日(日)		1998年現地訪問	カラムディ村

<ベンガル語教室>をはじめます。

ベンガル語については、数年前よりラフマンさんが教えてくれていますが、今年も引き続き講座が開かれます。今年度の第一回目は、

5月13日(水) 西新事務所で19時から20時30分、受講費は無料です。

現地に行こうとしている人、そうでない人、興味のある方はどなたでも自由にご参加ください。

☆
九八年度の活動がはじ
まりました。まずは会
員の交流と学習のため
の定例会を開きます。
みなさん、ぜひ出席
ください。
☆

Bangladesh と手をつなぐ会

〒814-0002 福岡市早良区西新 5-4-20

TEL&FAX 092-844-1369

代 表 大木松子

郵便振込 01720-2-10442

加入者名 Bangladesh と手をつなぐ会